

令和六年度 卒業式 式辞

今年の冬は長い寒波に見舞われ、キャンパスも時に雪景色となりましたが、最近の日差しには少しずつぬくもりがあり、キャンパスの花や緑から春の息吹を感じます。季節は確実に移り変わり、この移り変わりは私たちの人生そのものです。

本日、ここに岐阜県立国際園芸アカデミーを卒業していく二十二名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ご列席のご家族の皆様へも、心よりお祝いを申しあげます。

また、このたびはご多忙にも関わらず、岐阜県議会の水野正敏議長はじめ多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、ここに岐阜県立国際園芸アカデミー卒業式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

皆様方には平素から本学の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに、この場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて卒業生の皆さんは、一年前に花と緑の知識と技能を身に付けることを目標に、志を胸に抱いて本学に入学してこられました。今、今日のこのよき日を迎えるにあたって、このキャンパスで過ごしてきた楽しくもあり苦しくもあつたであろう様々なことが頭の中を駆け巡っていることと思えます。

皆さんが入学してこられた時に私から話したことを少し振り返ってみますと次のようなことでした。

これからの長い皆さんの人生において、人との出会いはまさに天文学的な奇跡なのです。

「二期一会」とは、初めて会う人との時間を大切にするとということだけではありません。いつも出会っている人に「同じ時間は二度とこない」と思っただけに関わることです。家族や友人、身近な人と過ごす何気ない時間は、一生に一度きりしかない出会いの繰り返しなのです。

すれ違った人、好きな人、嫌いな人、助けられた人、喧嘩した人、やさしい人、厳しい人、出会うすべての人が奇跡のように巡り合っているからこそ、一つ一つの出会いに感謝して、大切にしてください。

このような話をさせていただきました。

これからも出会う人が支えてくれる強さと優しさ、有難さに気づいて「感謝できる人」になってください。

そして、人生はあなた方の思ったとおりになるのではなく、あなた方のやったとおりになるのです。

頭であれこれ考えたり未来を期待する暇があったら、とにかくまずは自分で行動して未来を作ってしまう方がいいんです。

自分がやってみたいこと、面白いと思ったことに挑戦しつつ、世の中の環境や価値観の変化を感じながら、常に軌道修正していくことを心掛けてほしいと思います。

最後にあたり、ここにめでたく皆さんが卒業を迎えることができるのは、たゆまぬ努力の賜物であるのはもちろんですが、支えていただいたご家族や関係者のお陰でもあることも伝えておきたいと思えます。

さあ、これからは「何をやったか！ではなくて、何のためにやったか！」です。

以上、皆さんの将来に幸多きことを祈って、はなむけの言葉とします。

令和七年三月四日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共